

八王子市立秋葉台小学校「平成19年度授業改善推進プラン」

【八王子市教育委員会教育目標】

「あふれる元気」 健康な心身・活力
 「かがやく心」 豊かな知性と感性・個性
 「仲間とともに」 協調性・社会性
 「はばたけ未来へ」 意欲・積極性
 の育成に向けた教育を推進する。

〔教育目標〕

健康で明るい子ども
 よく考えすすんで学ぶ子ども
 仲良く助け合う子ども(重点目標)

1 地域の実態

ニュータウンとして開発された地区で新しい住民が多い。

2 地域・保護者の期待や願い
 教育に関心の高い家庭が多い。

3 期待される児童像
 自ら考え、主体的に行動することができる子ども。

《本校の現状》(「八王子市学力定着度調査」「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果から分析できること)

平成19年1月に実施した東京都「児童・生徒の学力向上を図るための調査」では、問題解決能力を観点別に調査しているが、これによると、本校児童は「問題発見」「見通す」「意思決定」において、都や市の平均を上回る結果を出しているが、「表現」「適用」は、平均を下回り、前者との違いは著しい。後者は、学習過程の後半から最後に培われるものである。各教科の単元や活動において、最後まで意欲を持続して取り組む経験が不十分だと考えられる。

国語は、言語事項以外の観点で平均を下回り、特に読む能力が低くなっている。日常の学習の様子を合わせて考えると、接続語や助詞などの細かい点に注意を払って確実に内容を読み取ることができていない。また、要旨をとらえたり、言外に込めた筆者の思いを推量したりする力も弱い。

算数は、観点別では、「数学的な考え方」が平均を上回り、他は低い。領域では、「数と計算」が高く、他はやや低い。能力的にはよいものをもっているが、力を十分に発揮できていない児童が多いといえる。数と計算の学習は、課題が明確でよく努力するが、他では、単位や用語の理解があいまいだったり、文章問題の読み取りや作図が大雑把だったり、じっくりと課題に取り組もうとする姿勢が弱い。

社会は、「思考判断」は平均値をやや越えるが、他の観点は大きく劣っている。社会一般への関心が低いことが影響している。単元で見ると「地域学習」は正答率が8割を超え、ほぼ平均値である。身近な問題には関心をもち、よく理解しているといえるが、「わが国の食糧生産・工業生産」に関しては理解が不足し、絵や写真、グラフなど資料活用之力も劣っている。地図記号や都道府県の位置の理解も不十分である。

理科は、「科学的な思考」「関心意欲態度」はよいが、「技能表現」「知識理解」が劣る。実験や観察には喜んで取り組むが、ねらいを明確につかめていない児童が多く、結果を現象としてのみとらえ、学習したことが定着しにくい。器具の違い方や用語の理解もやや不十分である。

《本年度本校における学力向上のための重点方針》

- ・コミュニケーション能力を養うために「話すこと、伝えること」「相手の考えを聞くこと」の指導の徹底。
- ・読み書きや計算の基礎的な技能の向上を図る。
- ・基礎・基本の徹底をはかり、数学的な考え方を伸ばす。

(本年度の学力向上の具体策)(いつまでに、どの程度)

・校内研究のテーマである「数学的な考え方を育てる授業を通して」の達成に向けて授業改善を通して、試行錯誤をくりかえして、ねばり強く解決していく力、筋道を立てて考える力、自立して判断する力を育てる。あわせて、表現する力、伝える力、説明する力を育てる。

・週1回の朝学習の時間を活用して算数の基礎・基本の定着を図る。

・読み書き・計算の一層の定着を図る。特に、学年に応じ、音読や漢字の書き取り練習を宿題・課題学習にし、学習の習慣化を図る。

・読書指導の一層の充実を図る。(朝読書、低学年は読み聞かせ)

《学力向上の成果の検証及びその評価方法》

・「数学的な考え方」の定義を共通理解し仮説を立てそれにもとづいた授業を展開し児童の成長を見る。

・チェックテストを行い定着しているか調べ、不十分な児童には各自に適した課題を与え定着を図る。

・全員が研究授業を行うことを通して研究成果の検証を行う。

教科等の現状と課題及び授業の改善点

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国語	・文字に関心を持ち楽しんで学んでいる。 ・おしゃべりは好きだが皆にわかりやすく話すことは苦手である。	・皆で共通の劇(TV)等を観た後であらすじを発表する力をつける。 ・日直のスピーチや作文を通し主語・述語のはっきりした文を話したり書いたりすることに慣れさせる。	音楽	・歌うことを楽しんでいる、簡単な曲でも正しい音程がとれない子がいる。 ・鍵盤ハーモニカの指使いにまだ慣れていない子がいる。	・基礎・基本の練習を積み重ねていく。教材をより親しみやすくそして効果的なものを選択するよう心がける。 ・鍵盤ハーモニカの指使いの指導をきめ細かくしていく。
社会			図工	・年々、手を使う作業(切る、折る、ちぎる等)が苦手な児童がふえているので、身に付けていく。	・基本的な手作業を要する課題をできるだけ増やしていく。
算数	・計算はできるが足し算・引き算等の理解に欠ける。 ・計算の早い子遅い子の差が開きつつある。	・位取り、十進法の仕組みを徹底して指導する。 ・身近なたす、ひくの場面を考えさせ、テープ図・線分図を開いて解けるように導く、体験、作業、問題作りを多く取り入れる。	家庭		
理科			体育	・課題に向かってよく頑張るがリズムカールな動きや柔軟性にやや欠ける。 ・体育・水泳が嫌いな子がいる。	・楽しいな、やってみたいなと思える授業を組み立てる。 ・毎時間準備運動のなかに柔軟性を高める運動を取り入れる。 ・器械・器具を使つての運動や縄跳び運動はカードを使い自分でめあてを決めて取り組めるようにする。
生活	・観察に取り組むが発見、感動することが少ない。 ・自分を表現したり人との関わりをうまくもてない子がいる。	・タイムリーに体験・観察をさせ、観点を示したり、疑問を投げかけたりして、探究心をかきたて興味を持続するようにする。 ・異年齢の子と関わる活動を多く取り入れ、人間の良さを感じさせ、自己肯定感を育てる。	総合的な学習の時間		
<p>その他(道徳・特別活動等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活指導上、必要と思われることは、機会を逃さず指導し、授業の中でも考えさせ話し合わせて、生活に生かさせる。 ・自分も他者も大切にできる子を育てるため、つねに心や命に対して敏感であるよう努める。 ・異学年交流では人との関わり方を考えさせ、よりよい関係が築けるよう支援する。 					

教科等の現状と課題及び授業の改善点

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いの中で、大事なことを落とさないようにしながら聞かせる工夫がもっと必要である。 文章に即して内容を正しく読み取る力がついてきた。 話すことが苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> 教師に対してだけでなく児童同士がつながるよう常に意識づけていく。 音読指導を継続指導していく。 調べたことを発表したり、朝の会でスピーチしたりする機会設定する。 	音楽	<ul style="list-style-type: none"> ほとんどの児童は音程がとれているが高い音を苦手としている子がいる。 鍵盤ハーモニカや合奏は簡単なものはできるがやや難しい曲にはなかなか演奏に苦労している子がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 発声練習に力を入れて正しい音程感覚を身に付けさせる。 指使いやリズムの指導をこまかくしていく。 より良い選曲をすることに留意する。
社会			図工	<ul style="list-style-type: none"> 比較的、手作業は好きな児童が多い学年である。発想を要するものを増やしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童一人一人の個性がはっきりと養われる、題材を考えて授業を行なう。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 十進位取記数法について理解しているが、わけを説明することが苦手である。 長さの概念をしっかりと理解させたい。 テープ図、絵図などによる問題解決が困難である。 	<ul style="list-style-type: none"> 結果だけでなく過程を重視し、それぞれの考えを表現したり、友だちの考えと比較検討する場を取り入れる。 くり返し学習のためにも家庭学習の習慣化を図り、学習したことを日常でどんどん使えるよう場の設定をする。 	家庭		
理科			体育	<ul style="list-style-type: none"> 基本の運動(器具・遊具を使つての運動、かけっこ、リレー)では、楽しく運動できた。 ゲーム運動では、規則を守って力いっぱいゲームをすることができた。 水泳が嫌いな児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習カードを使用し、自分のめあてに向かって、日常的に取り組ませ、運動の楽しさを味わわせる。 実態を把握し、その子に応じた、やる気をおこさせる指導を行う。
生活	<ul style="list-style-type: none"> 身のまわりにある自然の事物・現象に関して、気づきや発見に乏しい。 人とのコミュニケーションがスムーズにとれず、関わり方が苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> 体験活動を多くとりいれ、その中で、疑問をもったり思考を深めたり、気づいたりするよう支援していく。 1・2年合同の取り組みの中で人との関わり方を考えさせ、よりよい関係が築けるよう支援していく。 	総合的な学習の時間		
<p>その他(道徳・特別活動等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人一人の児童が所属感・存在感・充実感を深められるような学級活動を行なう。 児童の創意工夫を生かした行事の計画や活動が行なわれるようにする。 人間性豊かな心を育てるために自他の生命や人権を尊重する態度や責任ある行動がとれる態度を養う指導の徹底を図る。 					

教科等の現状と課題及び授業の改善点

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の書き取る力が弱い。 発表力が苦手である。 音読は、意味のまとまりを考えながらできる。 書く能力において、段落の意識をもって書いたり自分の思いを文章化したりするのが苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> 書き順指導を徹底するとともにミニテスト・まとめのテストの回数を多くする。 伝え合う場(話す場・書く場)を多くする。 	音楽	<ul style="list-style-type: none"> 発声等歌うことに関して技術は向上してきているが、音程を正しくとるのが苦手な児童もいる。 器楽ではリコーダーを中心に指導しているが技術に個人差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> のびのびと発声し歌を楽しむように指導し、選曲に工夫をする。 リコーダーでは個人的に本人の苦手とする所を見極めて指導していく。
社会	<ul style="list-style-type: none"> 地域の学習に対して、関心・意欲をもって取り組めたが、それが知識として身につけていけないところがあった。 	<ul style="list-style-type: none"> 調べ学習の方法や、まとめ方の指導を充実し、そこから考察できることを発表したり文章化したりできるようにする。 	図工	<ul style="list-style-type: none"> 作業そのものを楽しみ、活発に活動する学年である。一人一人の個性をこれからも伸ばしたい。 手作業が不十分な児童が少しいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 題材を一人一人の個性を伸ばすものとするとともに、基本的な手作業も、内容に組みこんでいく。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 基礎・基本の力が弱い子がいる。 数学的な思考力・判断力が弱い。 計算問題はできているが、時間などの量的なものの理解が苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> 技能(スキル)アップのため反復練習をして習熟を図る。 校内研究とも連動させて授業改善を推進する。 	家庭		
理科	<ul style="list-style-type: none"> 観察は意欲的に取り組めた。しかし、ねらいを把握せずに、記録している児童も見うけられた。 	<ul style="list-style-type: none"> 実験や観察において、ねらいを明確化し、それに沿ったまとめができるようにする。 科学的な見方や考え方を育てる。 	体育	<ul style="list-style-type: none"> 全体的に運動は好きだが、内容によっては、好き嫌いがあり、とくに器械運動や水泳では、苦手意識が強い子がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 特に、基本の運動では、学習カード等を使用し、めあてをもって取り組ませ、苦手意識をなくさせる。 個に応じた運動能力の向上をめざしカードを活用するなどして目標をもたせる。
生活			総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> 課題を設定することが苦手。 調べていくことが苦手。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童が興味・関心をもつような課題設定の工夫をする。 児童が自ら課題(問い)をもち追究できるよう学習活動を推進する。 調べ学習の充実を図る。
<p>その他(道徳・特別活動等)</p> <p>道徳：全教育活動を通して道徳的な判断力や実践力を身につけさせる。特にあいさつや返事などの集団でのマナーやルールなどの必要性や意義を考えさせ、きまりを守ることを通して、自律性や社会性を育てる。</p> <p>特活：異学年交流等の活動をさらに充実させ、社会性やコミュニケーション能力を育てる。</p>					

教科等の現状と課題及び授業の改善点

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国語	・クラス全員での一斉読みを授業の中に取り入れてきて、上手になってきた。また、意欲的に学習し、発言も活発にできる。ただ、時には発言が一部の児童に偏ってしまうこともある。	・活発に発言をして学ぶ子、挙手は少ないものの落ち着いてじっくり課題に取り組める子、それぞれの良さが生かせるように、多様な学習形態で自分の考えを伝え合う場を作っていく。	音楽	・リコーダーの力はついてきてアンサンブルも楽しめるようになってきたが、まだ、指使いがきちんとできない子もいる。 ・発声ではまだ音程が安定しない子もいる。	・リコーダーの指使い等きめ細かく指導していく。 ・発声練習を積み重ね合唱をより楽しめるように指導・選曲に工夫する。
社会	・清掃工場の見学では、事前の学習をもとに児童が意欲的に説明を聞いたりメモをとったりして、学習が充実した。	・2学期以降の社会科見学でも、事前学習では、視点を明確にして充実した見学ができるように努める。 ・地域社会に関心を持てるように教材を工夫する。	図工	・授業そのものを楽しんで活発な作業をする。 ・道具の使い方が不十分な児童がいる。	・安全指導に特に気を付けていく。 ・基本的な道具の使い方をもう一度チェックする。
算数	・確かな学力の定着のために、少人数指導を活用して、個に応じた指導の充実に努めてきた。課題にはみな一生懸命取り組んで、力をつけているが、自分の考え方を発表したりすることはまだ不十分な面がある。	・自分の考えを説明したり、お互いに聞き合ったりする授業を取り入れていき、考える力を育てていくことを目指す。 ・授業時や自宅学習などで反復練習を行い、確かな学力の定着を目指す。	家庭		
理科	・実験や観察に興味を持って取り組む児童が多かった。 ・7月は天気の悪い日が多く、星の観察などが十分にできなかった。	・2学期以降の学習でも、夏の大三角の話題にふれるようにする。実験や観察が充実してできるよう、授業の工夫をする。	体育	・運動することが大好きで、進んで活動することができたが、運動の内容によっての好き嫌いが活動の意欲の違いにつながっている面もあった。	・いろいろな学習課題に意欲的に取り組めるよう、チームで協力する楽しさや、自己の運動能力や技術の向上の楽しさを感じることができるよう工夫する。
生活			総合的な学習の時間	・自分たちのテーマを持って調べ学習や体験的な学習ができた。自分たちの調べたことを発表するときのやり方について工夫が必要な面もあった。	・子どもたちが興味関心を持つことのできる課題を用意し、体験的な活動を取り入れながら、学習を進めていく。 ・発表の仕方や聞き方の指導を工夫する。
その他(道徳・特別活動等) ・道徳、特別活動等を通して、児童がお互いに認め合え、クラスとしてのまとまりをさらに良くしていくように努める。					

教科等の現状と課題及び授業の改善点

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> 文章を読んだり、書いたりすることや、漢字学習は、抵抗なくやれる。 目的や意図に応じて内容や要旨を把握しながら読むこともほぼできるが、自分の考えを明確にしなが読むことは苦手。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的や意図に応じて自分の考えを書く活動を取り入れ、それをもとに話をする機会を増やす。 少人数での話し合いや朝の会のスピーチを繰り返す中で、文章や話しての意図をとらえ、効果的に表現することができるようにしていく。 	音楽	<ul style="list-style-type: none"> 器楽合奏や合唱を楽しんでいる児童が多い。 リコーダーの実技では指使い等が技術不足の児童もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の実態を踏まえ、教材の選択・学習環境の整備・学習活動の工夫をしていく。 リコーダーの指使い等、個別で指導を細かくしていく。
社会	<ul style="list-style-type: none"> 地図や統計などの各種の基礎的資料を効果的に活用したり、必要なことを調べたりすることができる。 社会的事象への関心が低く、自ら課題を見つけたり深く考えたりすることは不十分。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常的に社会の話題をとりあげ、社会的事象に対する興味・関心を高める。 具体的で適切な資料を提示することで、我が国の産業に関心をもたせる。 児童一人一人が問いをもてるよう、課題や課題提示、発問などの工夫をする。 	図工	<ul style="list-style-type: none"> 授業を楽しみ、自分なりの方法で個性を發揮している。 道具を正しく使えない児童が少しいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 現状の様子を見守り、一人一人の個性を伸ばしたい。 安全指導には特に気を付ける。
算数	<ul style="list-style-type: none"> きまった計算はできるようになるが、確実さや粘り強さに欠け、自分の考えをもち、表現することは不十分。柔軟な思考力を養いたい。 既習事項を活用したり、根拠を説明したり、根拠を説明したりすることが不十分。 	<ul style="list-style-type: none"> 考える課題を大事にし、自力解決 検討の場を保障する。 少人数(3人)での伝え合いをする中で自分の考えや友達の考えをたどることを積み重ねていく。 問題や課題の提示の仕方を工夫する。 朝学習週一回全校体制で算数プリントに取り組む。 	家庭	<ul style="list-style-type: none"> 製作・調理を通して課題に対して意欲的に取り組むことができる。 授業で学んだことを生活で実践しようとする態度に個人差がある。 実習後の後かたづけへの取り組みが、実習そのものの意欲に比べて弱い。 	<ul style="list-style-type: none"> 技能的なことについては個別に指導していく。 かたづけの為の時間を確保し、最後まできちんとやらせていく。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 実験や観察には意欲的に取り組み、記録することも面倒がらずやれる。 新しい知識を得ることも好む。 継続して観察したり、実験の結果などからきまりを推測したり応用したりすることは不十分。 	<ul style="list-style-type: none"> 科学的な考え方につなげる為の視点を課題として与え、問題解決への思考につなげる。 科学的な事象について話題を提供し、意識を高める推測や推論の仕方や記述法の指導をすると共に、少人数や学級での話し合いの場を設定する。 	体育	<ul style="list-style-type: none"> 互いに協力して運動し、楽しめるが自己の能力に適した課題を決めたり、課題解決の仕方を工夫するところまでは至っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習カードを使って、自己の能力に適した課題をもたせ、評価していく。 課題に向けて練習の選択ができるような場を工夫する。 友達同士の教え合い、学び合いをする中で、互いに高めていけるようにする。
生活			総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> 里山農業クラブでの稲作体験を通して知識だけでなく、工夫や苦労も感じ取っている。 内容や目的にあった追求や、まとめ方、表現の仕方については、不十分。 	<ul style="list-style-type: none"> 体験学習をより充実させると共に(地域の良さを生かした活動を組み)地域の人材・ゲストティーチャーなどを活用していく。 インターネットや資料の活用をしながら、手立てを提示したり、他の人のまとめ方、表現の仕方の良さに気づかせたりしていく。
<p>その他(道徳・特別活動等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 明るく前向きに生活し、高学年として学校を支える立場も自覚しつつある。活動が与えられれば意欲的に取り組める。 自己肯定感の低い児童やその時の気分が左右されてしまう児童がいる。自他とも大切に認め合っていけるよう、折にふれて指導する。 集団生活を送る上でのルールについてもそのつど話をする。相手の立場にたって考えることの大切さを繰り返し伝えていく。 					

教科等の現状と課題及び授業の改善点

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> 細かい点に注意して、内容を確実に読み取る力が弱い。また、要旨をとらえたり、言外に込めた筆者の思いを推量したりする力も弱い。 漢字学習はよく努力するが、ノート記述など書くことを面倒がる児童が多い。 事実を順序よく書ける児童は多いが、気持ちや考えを表現する力が弱い。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝読書、読書週間等、読書の機会を多くもたせる。 物語文や説明文の読解では、接続語や助詞などに注目させ、確実に読み取ることができるようさせる。 身近なできごとの中から心を動かされたできごとをとりあげ、ごく短時間の事実を感情豊かに表現できるよう、短作文を書かせる。 単語の羅列でない、ていねいな会話を日常的に心がけさせる。 	音楽	<ul style="list-style-type: none"> 合奏することを好む児童が多い。 正しい音程を出すことが苦手な児童がいる。 リコーダーでは半音等の指使いがまだうまくできない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人が様々な楽器に触れる機会を多く持つようにする。 発声に注意を向けさせ、音の重なり of 楽しさを味わうことができる楽曲の選曲に留意する。 リコーダーの指使いの指導の徹底を図る。
社会	<ul style="list-style-type: none"> 身近な地域の問題には関心をもち、自分の考えもっているが、社会一般への関心は低い。大きなニュースは知っているが、それについて自分の考えをもてる児童は限られている。 歴史に対する関心の度合いが児童によって差が大きい。 資料からの細かい読み取りが苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> スピーチでニュースを積極的に取り上げさせ、必ず自分の考えを発表させる。 学習進度に応じて、歴史漫画など関係する図書を教室におき紹介する。 グラフや地図などの読み取りの基本を身につけさせる。 資料からわかったことを発表させ、話し合う機会を多くとる。 	図工	<ul style="list-style-type: none"> 男子と女子の授業に対しての集中度に少し差がある。男子も集中して、作業に楽しみを見い出せるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ものを作る楽しみをもう一度味わえる教材を考える(男子)。 安全指導には気を付けていく。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 数と計算の学習は、課題が明確でよく努力するが、他では、単位や用語の理解があいまいだったり、文章問題の読み取りや作図が苦手だったり、じっくりと考えて課題に取り組みもうとする姿勢が弱い。 全体的に基礎的な四則計算が不足である。 	<ul style="list-style-type: none"> 作業や自力解決、話し合いの時間を多くとり、考えることの楽しさや成就感を味わわせ、自信と向上心をもたせる。 朝自習や宿題などで、基礎的な計算技能の習熟を図るとともに、個人指導の時間をできる限り取るようにする。 	家庭	<ul style="list-style-type: none"> 製作や調理などの日常生活に必要な知識や技能を身につけつつある。 実習課題には意欲的に取り組むが、やや難しい技能が必要とされてくるとめんどろがる傾向がある。 家庭生活への関心が希薄な児童がわずかだが見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> 技能的なことについては個別に指導したり教え合いの学習を取り入れ、できる喜び、楽しさを味わわせていく。 個々の家庭事情に配慮しながら、家庭生活の大切さ、本当の豊かな暮らしとは家族の協力の上で成り立つことに気づかせ、家族の一員として自覚を持たせていく。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 理科への関心に個人差があり、難しくてわからないという意識をもつ児童が少なくない。 実験や観察には喜んで取り組むが、ねらいを明確につかめていない児童が多く、結果を現象としてのみとらえるため、学習したことが定着しにくい。 器具の正しい使い方や用語について理解不足である。 	<ul style="list-style-type: none"> 身のまわりの自然事象やメディアなどから科学の不思議や面白さを感じ取れる事柄を紹介する。教師からも話し、スピーチなどで取り上げさせる。 実験や観察からわかったことを発表させ、話し合う機会を多くとる。 知識としておさえることはしっかりとおさえる。 	体育	<ul style="list-style-type: none"> 運動によって得意不得意、好き嫌いをはっきりしている。 苦手なものに挑戦しようとする意欲に乏しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習カードなどを工夫し、他人との比較でなく、自分の目標をもってがんばるようにする。 一人一人の技能に合った場の設定やルールを工夫し、運動することの楽しさを味わわせる。
生活			総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> 個人の課題の決め方が安易である。単に「知りたい」という思いから、漠然と課題を決めてしまう場合が多い。 調べること、知ることが課題解決と考えている児童がまだまだ多い。自分なりに課題を深く追究する姿勢が乏しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題を考える時間や解決のための見通しを立てる時間を十分に取り、できる限り個人指導をして、意味の在る課題を決めさせる。 自分の生活を振り返らせたり、普段考えていることを想起させたりして課題をより深く追究させる。
<p>その他(道徳・特別活動等)</p> <p>互いのよいところを認め、励まし合い、尊重しあう人間関係を育てる。そのために、学校行事やたてわり活動、学級活動では、事前指導を充実させ、ねらいや活動の見通しを明確にし、一人ひとりが自信をもって活動に取り組み、それぞれが自身の良さを存分に発揮できるようにする。</p>					